



—異なる学部の学生がチームで協働、企業を取り巻く社会課題に提案— 7/6(土)「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称:学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の春学期の最終報告会を7月6日（土）に本学会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で開催いたします。

本プロジェクトでは、異なる学部の学生が一つのチームを作り、各学部の専門性を生かしながら調査・分析します。最終報告会では、プロジェクトの履修生が話し合いや協力企業とのやりとりの中で、企業が果たしている社会的な役割や貢献を、社会課題（サステナビリティ課題）という観点からとらえて整理し小冊子を作成し、企業の方や聴講者に提示します。なお、最終報告会は、高校生や一般の方も聴講いただけます。ぜひご参加ください。

学部横断型課題解決プロジェクト 春学期最終報告会

概要

日時：2024年7月6日（土）10:00～12:15
会場：武蔵大学1号館1階1101教室/オンライン会場
発表者：学部横断型ゼミナール・プロジェクト履修生
担当教員：永田浩三 社会学部教授、笠原一絵 経済学部助教

申込方法

対面参加の場合はお申込み不要、オンライン参加の場合は以下のURLから事前申し込み登録が必要です。申し込み完了後、ミーティングIDとPWをご連絡いたします。

オンライン参加申込締め切り：7月5日（金）16:00

https://www.musashi.ac.jp/education/seminar/seminar_project/application.html

タイムスケジュール

10:00～10:05 開会・来賓のご紹介
10:05～10:20 担当教員によるプロジェクトの概要説明
10:20～10:25 学内関係者挨拶
10:30～11:15 Bチーム発表
11:15～11:25 休憩
11:25～12:10 Aチーム発表
12:10～12:15 全体の講評

*各チームの発表時間は30分、質疑応答・学生からのコメントが15分となります。

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。

課題提供企業

今回は、下記の企業にご協力いただいています。

[雪印メグミルク株式会社](#)

事業内容：牛乳、乳製品及び食品の製造・販売等



2023年度秋学期最終報告会の様子



ディスカッションする学生たち（学部横断ゼミ）

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:増田・西（ますだ・にし）

TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

